

特定健診提出用データ（XML・CSV）チェックツール

かんたん操作書

（第2. 2版）

令和7年11月

日本学校振興・共済事業団

目次

1. 操作例.....	3
1. 1 健診結果チェックから私学事業団への送付まで.....	3

1. 操作例

1. 1 健診結果チェックから私学事業団への送付まで

本ソフトウェアの起動

(1) 本ソフトウェアの起動（共通処理）

デスクトップからショートカット「特定健診提出用データ(XML・CSV)チェックツール」をダブルクリックし、本ソフトウェアを起動してください。



データチェック

(2) データチェック

① 実施年度の選択

「メニュー」シート上の実施年度のプルダウンからチェック対象の特定健診提出用データの実施年度を選択してください。



② 処理実行

チェック対象の特定健診提出用データのフォーマットに該当する処理を実行してください。

厚労省指定フォーマット（XML）の場合

… ③へ

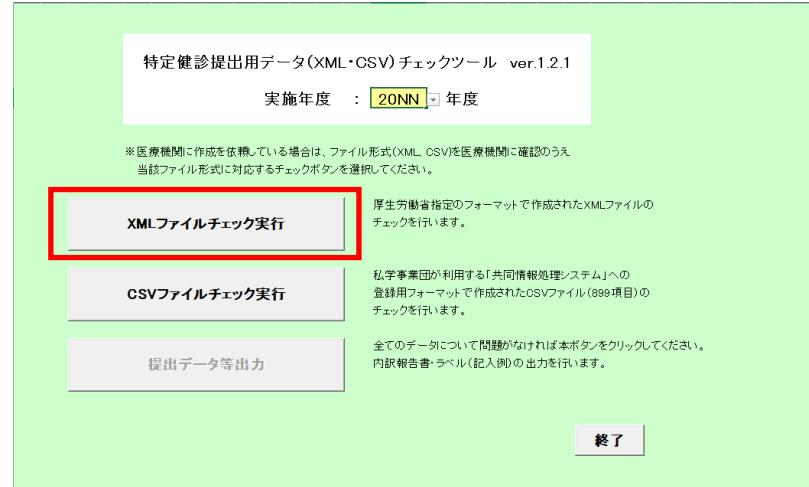
共同情報システム登録用フォーマット（CSV）の場合 … ④へ

データチェック

③ 厚労省指定フォーマット（XML）の場合

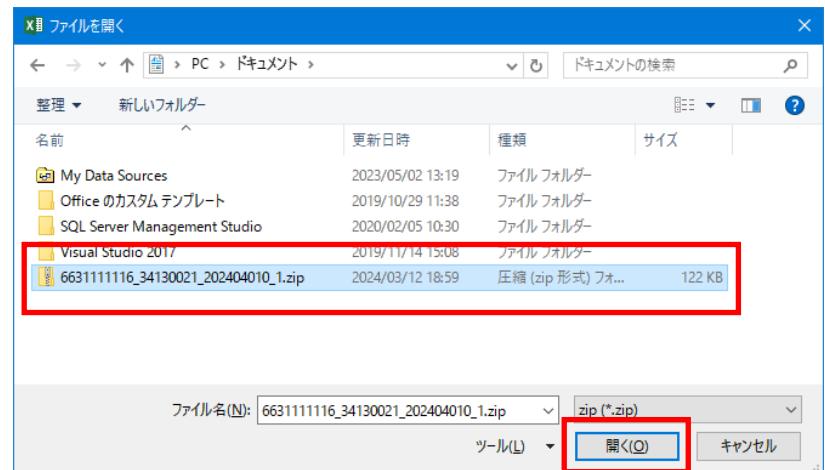
③-1 厚労省指定フォーマット（XML）処理実行

[XMLファイルチェック実行]ボタンを押下してください。



③-2 ファイル選択

特定健診提出用データ（XML）を選択し、[開く]ボタンを押下してください。

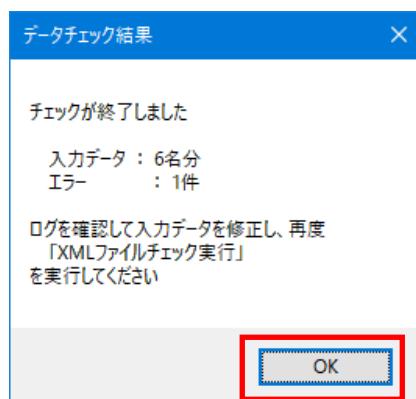


データチェック

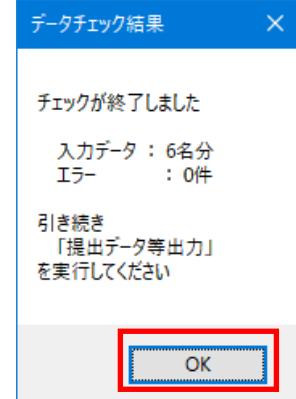
③－3 入力内容チェック

選択した特定健診提出用データ（XML）のチェックが行われ、結果がダイアログに表示されます。

結果を確認し、[OK]ボタンを押下してください。



③－3A エラーあり

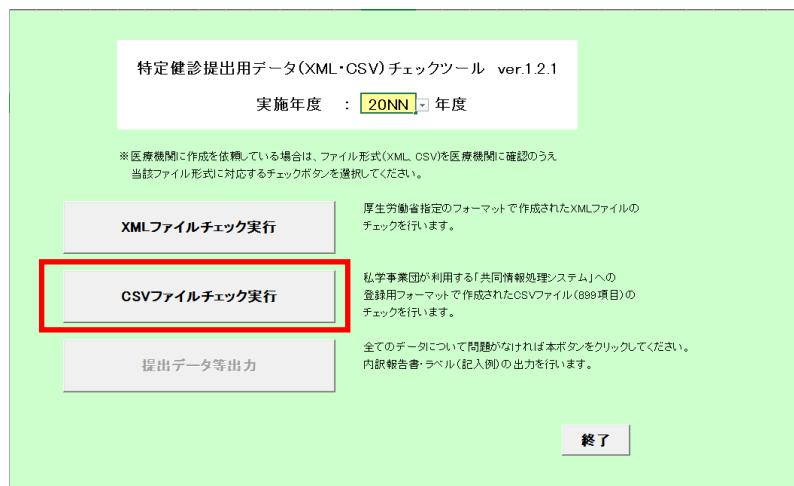


③－3B エラーなし

④ 共同情報システム登録用（CSV）の場合

④－1 共同情報システム登録用（CSV）処理実行

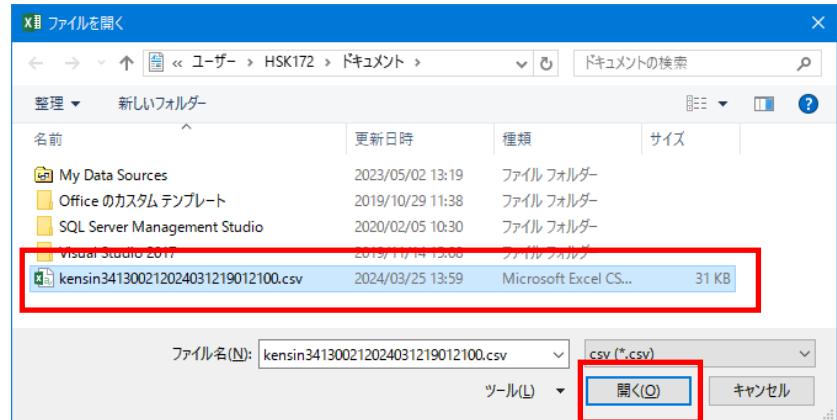
[CSVファイルチェック実行]ボタンを押下してください。



データチェック

④-2 ファイル選択

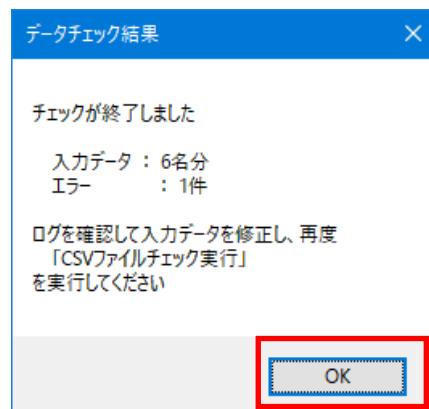
特定健診提出用データ(CSV)を選択し、[開く]ボタンを押下してください。



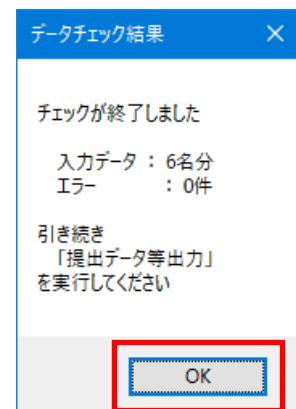
④-3 入力内容チェック

選択した特定健診提出用データ(CSV)のチェックが行われ、結果がダイアログに表示されます。

結果を確認し、[OK]ボタンを押下してください。



④-3A エラーあり



④-3B エラーなし

結果確認

(3) 結果確認 ※エラーが存在しない場合、実施不要

① エラーログの確認

チェック結果にエラーが1件以上存在する場合、「エラーログ」シートに詳細が表示されるため、エラー内容の確認を行います。

エラーログ 内容

項目番号	レコードNo./ファイル名	被保険者等記号 (学校記号番号)	被保険者等番号 (個人番号)	エラー対象者名
1	h66311111162024040101000001.xml	13A9999	00003	サンプルタロウ

(↓ 続き)

エラー項目名	設定値	エラー内容
尿糖定性関連、尿蛋白定性正関連 測定不可能・検査未実施の理由		尿検査の全項目または測定不可能・検査未実施の理由(男性の場合は1以外)の入力が必須となります。

② データ修正 ※エラーが存在しない場合、実施不要

チェック対象となった特定健診提出用データの制作元の健診機関等に連絡し、修正を行います。

③ 再実行

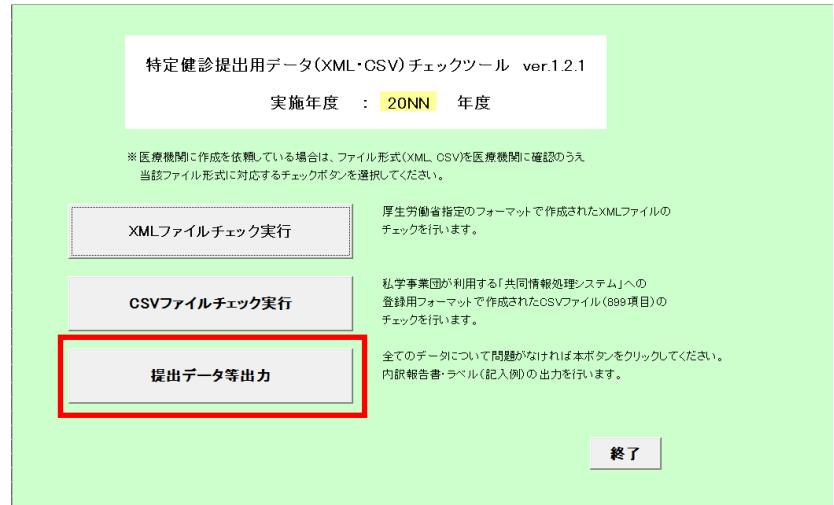
特定健診提出用データの修正が完了したら、(2)からやり直します。

データ出力

(4) データ出力

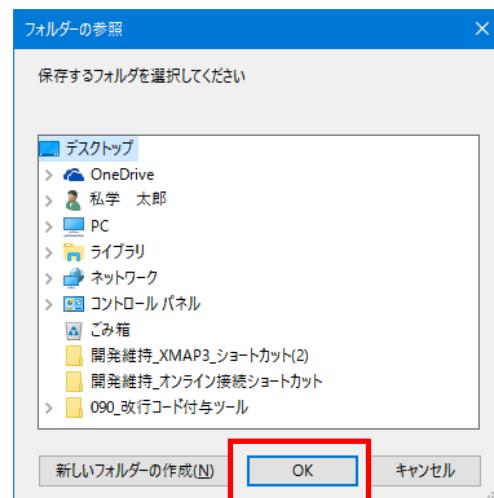
① 処理実行

[提出用データ等出力]ボタンを押下してください。



② 出力先選択

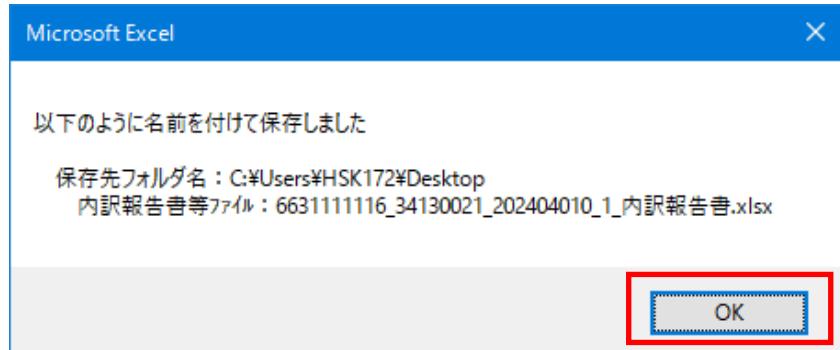
フォルダーの参照ダイアログが表示されるため、出力先を選択し、[OK]ボタンを押下してください。



データ出力

③ 出力確認

処理完了ダイアログに内訳報告書等ファイルの出力先が表示されるため、内容を確認し、[OK]ボタンを押下してください。



※内訳報告書ファイル名

選択した特定健診提出用データ名(拡張子なし) & 「_内訳報告書.xlsx」

本ソフトウェアの終了

(5) 本ソフトウェアの終了

[終了]ボタンを押下してください。



※ 変更保存のダイアログが表示されるため、必要に応じて保存を実行してください。

保存 : 変更を保存して本ソフトウェアを終了します。

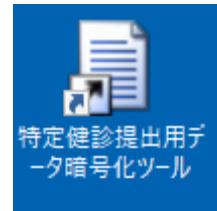
保存しない : 変更を保存しないで本ソフトウェアを終了します。

キャンセル : 終了処理をキャンセルします。

暗号化ツールの起動

(6) 暗号化ツールの起動

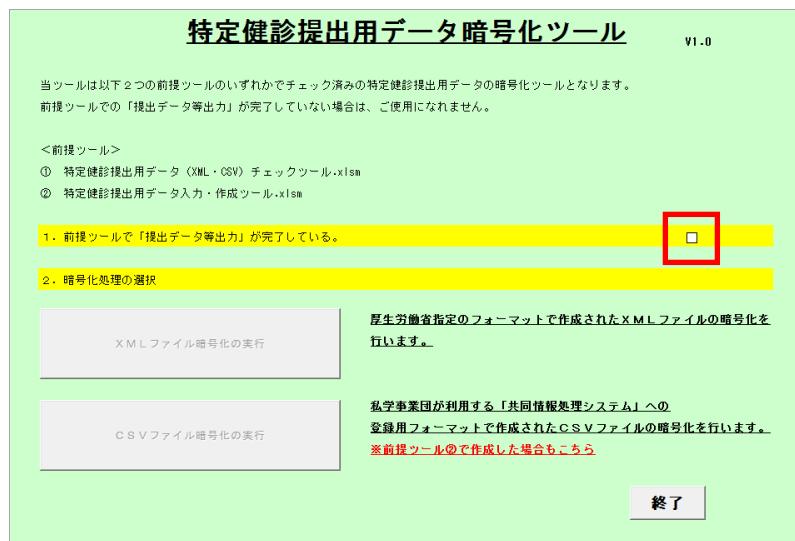
デスクトップからショートカット「特定健診提出用データ暗号化ツール」をダブルクリックし、本ソフトウェアと一緒にインストールされた暗号化ツールを起動してください。



前提チェック

(7) 前提チェック

前提ツールの実行確認にチェック(✓)を入れてください。



暗号化

(8) 暗号化

① 処理実行

暗号化処理ボタンが有効となるため、(2)で選択した処理に合わせてボタンを押下してください。

厚労省指定フォーマット(XML)の場合

… ②

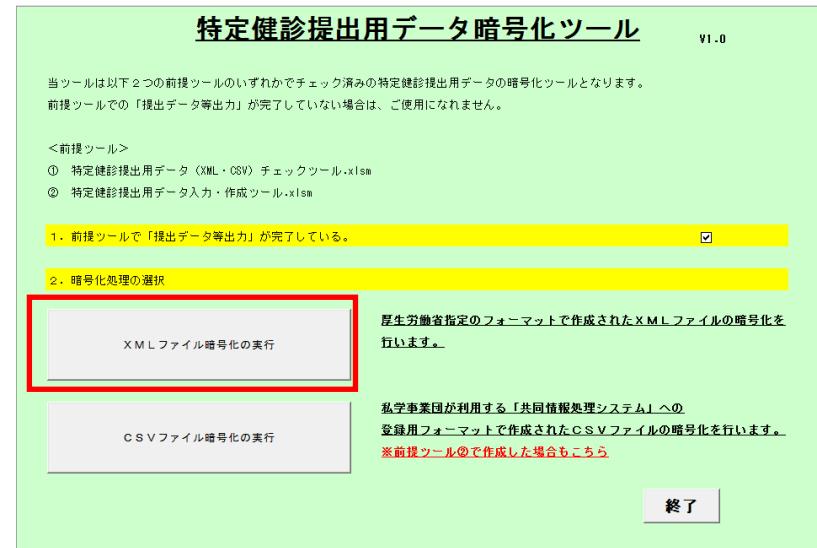
共同情報システム登録用フォーマット(CSV)の場合 … ③

暗号化

② 厚労省指定フォーマット（XML）の場合

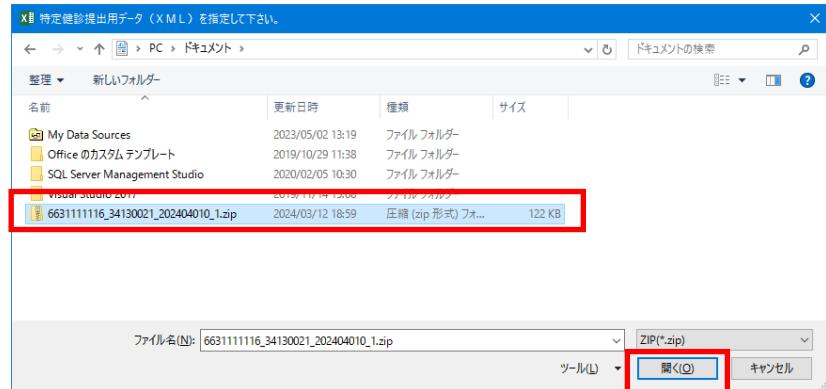
②-1 厚労省指定フォーマット（XML）処理実行

[XML ファイル暗号化の実行]ボタンを押下してください。



②-2 ファイル選択

ファイル選択ダイアログが表示されるため、(2) ③で選択した特定健診提出用データを選択し、[開く]ボタンを押下します。

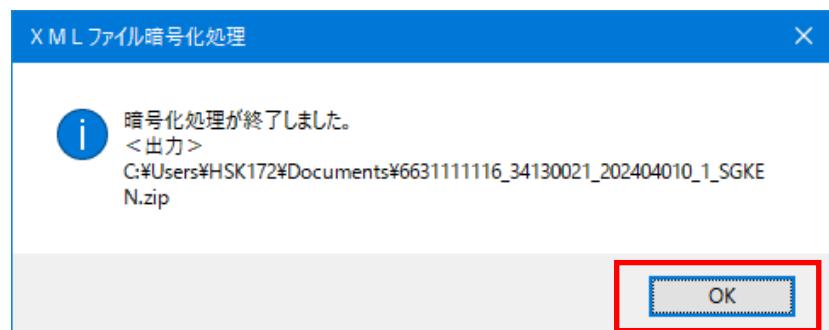


暗号化

②ー3 暗号化

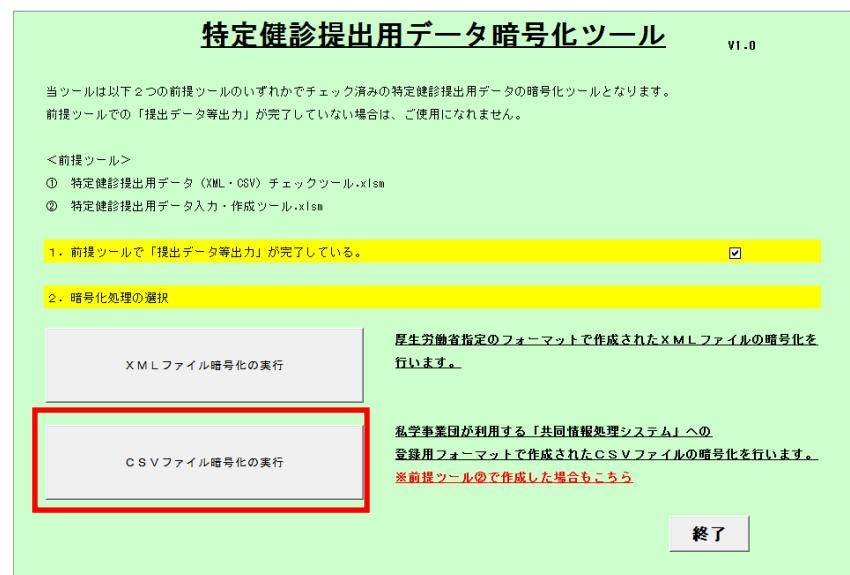
特定健診提出用データ（XML）の暗号化処理が行われ、処理完了ダイアログが表示されます。

暗号化済特定健診提出用データの出力先を確認し、[OK]ボタンを押下してください。



③ 共同情報システム登録用フォーマット（CSV）の場合

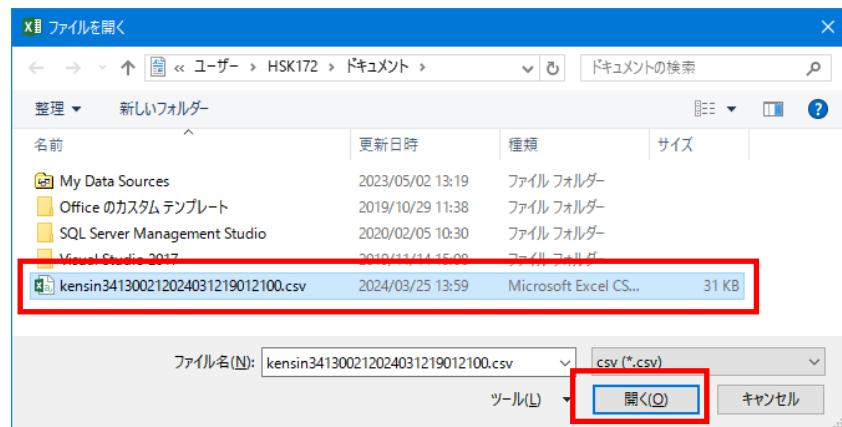
③ー1 共同情報システム登録用フォーマット（CSV）処理実行
[CSVファイル暗号化の実行]ボタンを押下してください。



暗号化

③-2 ファイル選択

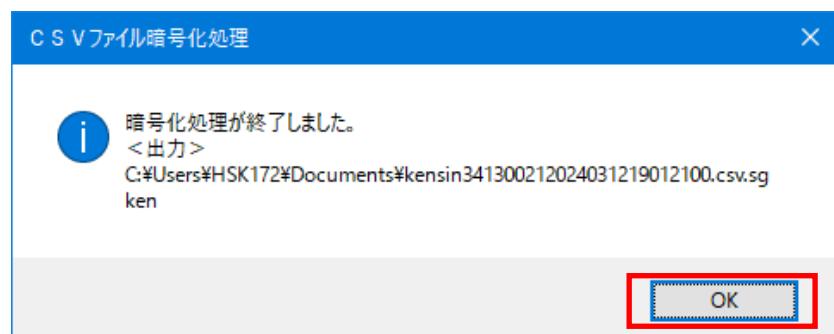
ファイル選択ダイアログが表示されるため、(2) ④で選択した特定健診提出用データを選択し、[開く]ボタンを押下します。



③-3 暗号化

特定健診提出用データ (CSV) の暗号化処理が行われ、処理完了ダイアログが表示されます。

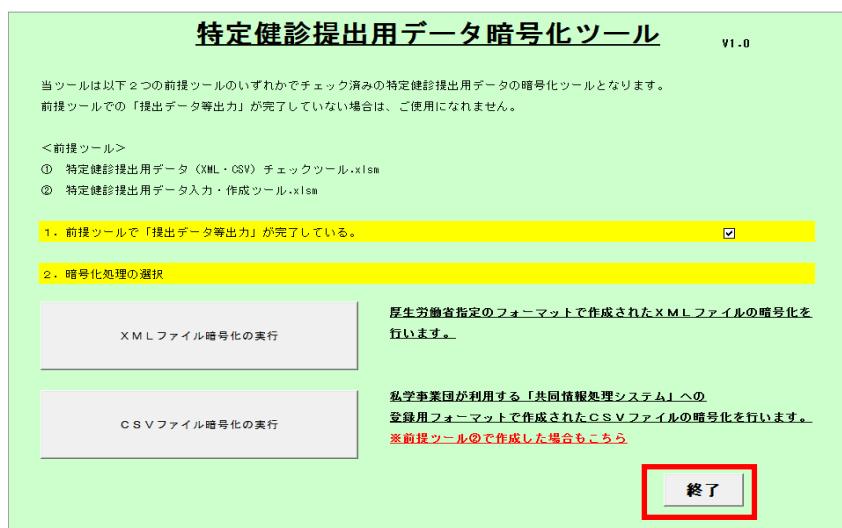
暗号化済特定健診提出用データの出力先を確認し、[OK]ボタンを押下してください。



暗号化ツールの終了

(9) 暗号化ツールの終了

[終了]ボタンを押下してください。



電子媒体作成

(10) 電子媒体作成

① 保存

(8) で出力した暗号化済特定健診提出用データを電子媒体（CD-R または USB）に保存してください。

② ラベル作成

(4) で出力した内訳報告書等データのラベル記入例シートを参照し、作成した電子媒体にラベルを作成してください。

※CD の場合は、ラベル貼付はせずに直接 CD の表面に書き込んで下さい。

内訳報告書印刷

(11) 内訳報告書印刷

(4) で出力した内訳報告書等データの内訳報告書シートを編集し印刷してください。

(12) 送付

(10) で作成した電子媒体、(11) で印刷した内訳報告書、その他添付資料を私学事業団宛に送付してください。